

第1章

ビジョン策定にあたって

1. 策定の経緯

本市では、将来にわたって安心かつ安定した水道水を供給し、市民とはぐくむ水道事業を継続するために、平成22年3月に「萩市水道ビジョン」（以下「現行ビジョン」という。）を策定しました。

このたび現行ビジョンの計画期間終了を迎え、引き続き安全で安心な水道水の安定供給を図っていくため、現行ビジョンを継承する「萩市水道事業ビジョン」（以下「水道事業ビジョン」という。）を策定しました。

水道事業ビジョンは、水道事業を取り巻く環境の変化や現行ビジョンの達成度評価に加え、これからの水道事業の課題を踏まえた長期的な視点にたって策定したものです。

現行ビジョン

計画期間：平成21年度から平成30年度まで(10年間)

現行ビジョン



- ① 事業環境の変化
- ② 現行の評価・見直し
- ③ 新たな課題



水道事業ビジョン



図1-1 現行ビジョンと水道事業ビジョンの関係

2. ビジョンの位置づけ

本市は水道事業ビジョンを計画の骨子として、その具体的な計画をまとめた「水道事業基本計画」を策定しています。「水道事業基本計画」は、厚生労働省が示す計画や萩市が進める計画との整合を図った総合計画となります。

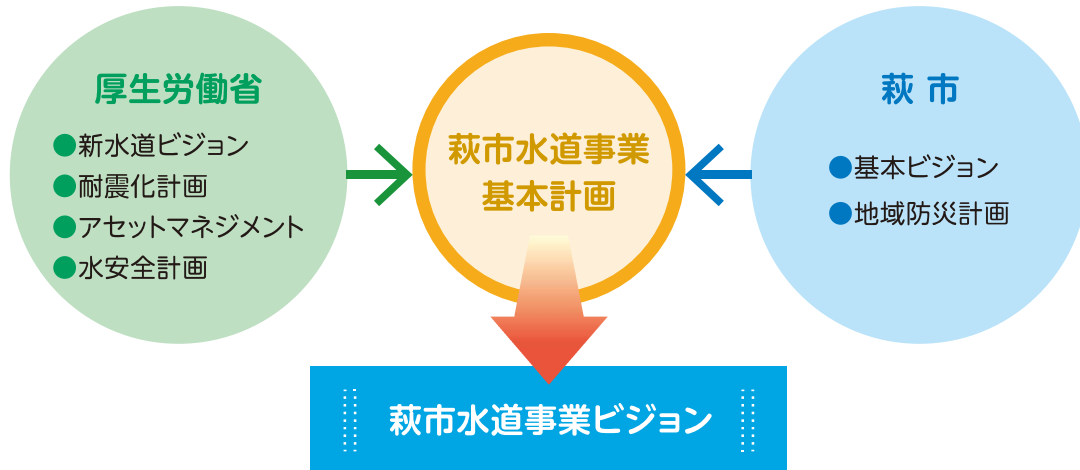


図1-2 水道事業基本計画及び水道事業ビジョンの位置づけ

3. 計画期間と目標年度

「新水道ビジョン（厚生労働省）」及び「経営戦略（総務省）」に係る手引きやガイドラインは、計画期間をおおむね10年または10年以上に設定すべきとしています。

そのため、水道事業ビジョンの計画期間を10年間、計画目標年度を令和11年度としました。

水道事業ビジョン	計 画 期 間：令和2年度から令和11年度(10年間) 計画目標年度：令和11年度
-----------------	--

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12~
水道事業ビジョン	水道事業ビジョン 令和2年度～令和11年度										次期ビジョン
	次期ビジョンに向けた改定期間										